

取扱説明書

GT GAUGE-52

回転信号タイプ

タコメーター **GST-5**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

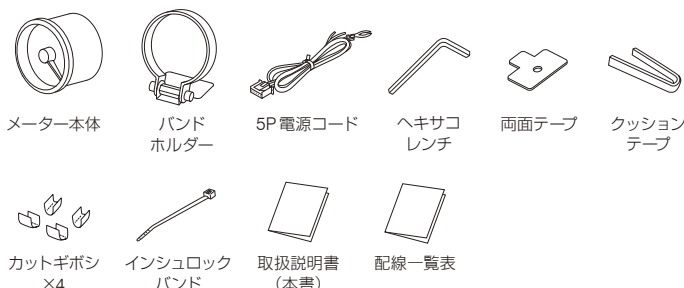
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示範囲	1
配線接続方法	2
各種設定	3
製品の固定	4
基本動作	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●製品固定や配線処理は確実に 製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。 ●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない 故障の原因となります。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	---

特長

最新技術と場所を取らない 52mmというサイズ。

メーター本来の見やすさを追求したデザインに、52mmという小型で単品でも複数でも装着しやすく視界の邪魔にならないサイズにステップングムーブメントによる高精度表示を実現した、まさにエンジンを知るためのメーターです。

オートピーク表示

エンジン始動時からのピーク値をエンジン停止時に表示。

簡単装着のワンボディ

別ユニット不要でメーター部のみで簡単に装着できます。

シンプルデザイン

飽きのこない伝統的メーターのシンプルデザイン。

高精度ステップングモーター

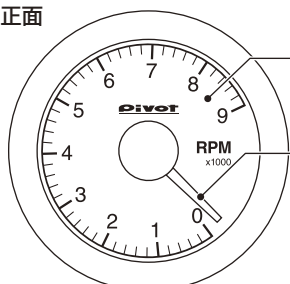
コイル式のように指針のオーバーシュートがなくレスポンスのいい動作。

バンドホルダー付属

様々な場所にメーターを設置しやすいバンドホルダーを付属。

各部の名称と表示範囲

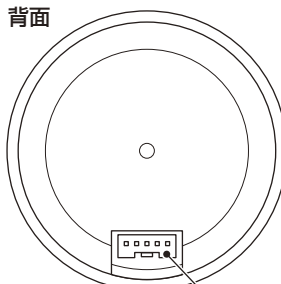
正面



- 表示部**
エンジン回転数を表示
- 針**
現在の数値やピーク値を表示
- イルミ**
表示中は常時点灯
ホワイト照明（文字・針）

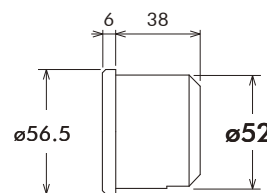
表示：0~9000 rpm

背面



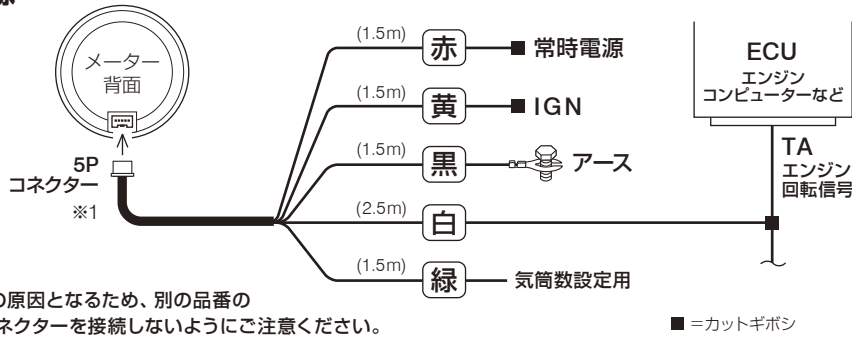
5Pコネクター
5P電源コードを接続

サイズ
[単位:mm]



配線接続方法

基本配線



※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクタを接続しないようにご注意ください。

!
安全のため、配線作業時はバッテリーの⊖端子を外してください。

■ = カットギボシ

常時電源

赤 常時+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。

IGN

黄 キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(常時・ACC 不可)

アース

黒 アース端子付
アースが取れる金属部のネジに固定する。プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

エンジン回転信号

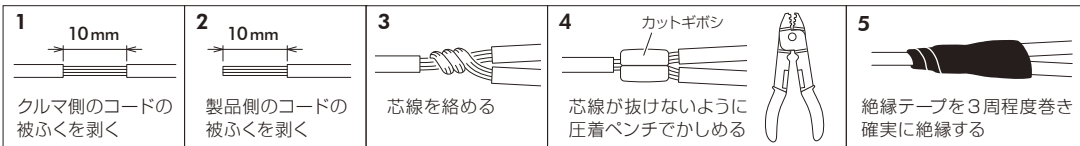
白 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用して接続する。
接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。



気筒数設定

緑 3ページ「気筒数設定」に従い気筒数の設定を行う。
緑コードは設定完了後に絶縁処理をする。

カットギボシの使い方

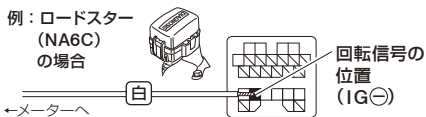


ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

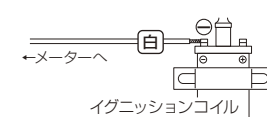
- 両方接続しても正常に動作する
▶ そのまま使用可能。
- 動作しない、または不安定な動作をする
▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

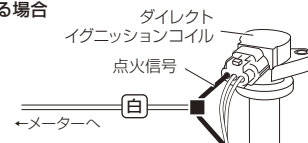
● ダイアグノシス (チェックコネクタ) からとる場合



● イグニッションコイルからとる場合



● ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合



上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合
例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。
▶ 気筒設定数を「1」にします。⇒3ページ
設定A 気筒数設定

■ = カットギボシ
※気筒数設定を「1」にします。
※点火信号の配線位置は車種によって異なります。

各種設定

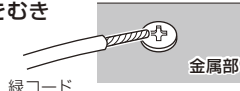
準備

取り付ける車の気筒数、サイクル数をご確認ください。

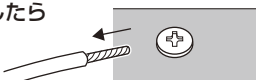
設定 A 気筒数設定


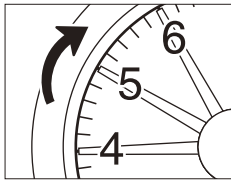
クルマごとの気筒数を設定します。気筒数は針の位置で設定します。
(出荷時は4気筒に設定されています)

1  キースイッチ ON ▶ 針がオープニング動作後に0を指す
※エンジンは始動しない

2 緑コードの先端の被ふくをむき
芯線を車輛のアースへ
4秒間当てる 

※アース用ネジは金属に固定されたネジを使用してください。
プラスチック部に固定されたネジや塗装ネジでは絶縁状態になり、通電しません。

3 針が現在の設定値を指したら
芯線をアースから離す 

4  

緑コードの芯線をアースへ当てて離すごとに針が4→5→6→8…と上がるので設定する気筒数の位置まで動かす

気筒数	針	車種
1	1	日産車 (フェアレディ Z Z33)・マツダ車 (アテンザ等) ※
2	2	マツダ車 (RX-8)・スバル車 (プレオ初期型等) ※
※ 1気筒、2気筒設定の場合、 設定B 信号レベル切り換え で信号検出レベルを2に設定してください。		
3	3	3気筒車
4	4	4気筒車・ロータリー車 (RX-7)
5	5	5気筒車
6	6	6気筒車
8	8	8気筒車
特 A	9	日産マーチ/キューブ等の一部車種

⚠ 2サイクル車の場合は、気筒数を2倍にて設定してください。
(例: 2サイクル3気筒車の場合 ⇒ 6気筒設定)


5 キースイッチ OFFで針が0へ移動し
イルミ消灯後に一目盛り右へ移動 ▶ **設定完了**

※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

設定 B 信号レベル切り換え

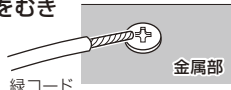
回転信号の検出レベルを切り換えます。

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

日産 (フェアレディ Z Z33)、マツダ (H14年以降の一部)、
三菱 (コルト他)、スバル (プレオ初期型等) 



※詳細は、別紙「配線一覧表」をご覧ください。

1  キースイッチ ON ▶ 針がオープニング動作後に0を指す
※エンジンは始動しない

2 緑コードの先端の被ふくをむき
芯線を車輛のアースへ
8秒間当てる 

3 4秒後に気筒数設定、
8秒後に針が一度0に戻ってから
現在の設定値を指す (1または2)

4 緑コードの芯線をアースへ当てて離すごとに針が1と2を交互に指すので設定値まで動かす

1 = 一般の場合  2 = レベルが小さい場合 

5 キースイッチ OFFで針が0へ移動し
イルミ消灯後に一目盛り右へ移動 ▶ **設定完了**

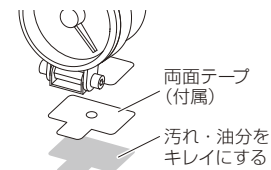
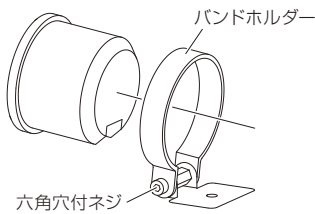
※ 緑コードは設定完了後に絶縁処理をしてください。

製品の固定

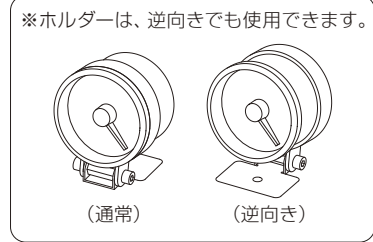
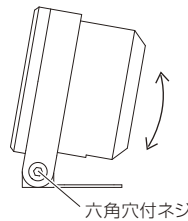
バンドホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- 1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 両面テープで固定する。
- 3 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

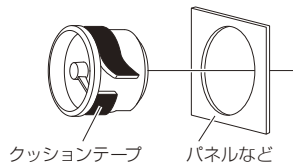


※粘着力が低下するため、貼直しは行わないでください。



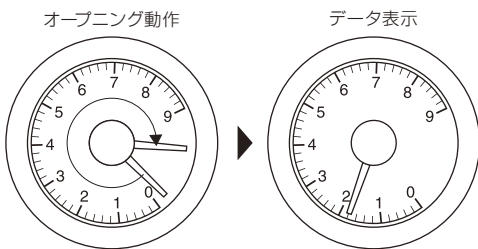
パネルなどに埋め込む場合

- 1 メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 2 直径 52mm の穴に圧入状態で差し込む。



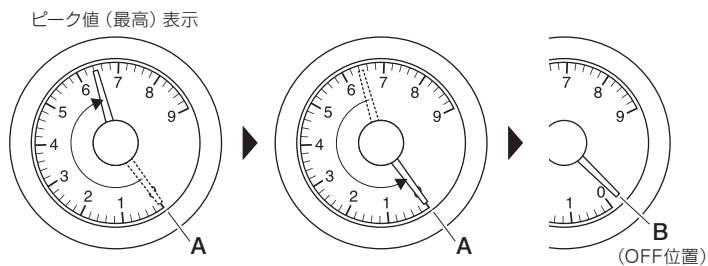
基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。



※ コネクタ装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置からピーク値を数秒間表示。ピーク値表示後、針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。



※ ピーク値はエンジン始動後の最高値です。
※ OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが動かない。	5Pコネクタ (赤 黄 黒) コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	別の品番の5Pコネクタを接続している。	「配線接続方法」をご確認ください。
オープニング動作はするが表示しない。	白 コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
表示が車輛メーターなどよりもズレる。	気筒数設定があっていない。	「気筒数設定」をご参照の上、確実に設定してください。
	信号検出レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
各種設定が記憶されない。	赤 黄 コードの配線間違い。	必ず赤 コードは常時電源、黄 コードはIGN電源へ接続してください。
オートピークが表示されない。		
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。